

タルグム(英語 targum ヘブライ語תרגום--ティルゲム)

アラム語で「解釈」または「翻訳」を意味し、アラム語訳旧約聖書を意味します。この誕生の背景ですが、紀元前 6 世紀、ユダヤの民のバビロン捕囚頃よりユダヤ人のなかには聖典の言葉である古代ヘブライ語を理解できるものが少なくなったため、紀元前 1 世紀の頃までには会衆の理解のため、祭司の読むヘブライ語原典の聖句や解釈を当時の世界で一般的に話されていたアラム語に訳することが行われるようになったものです。これは「口頭のタルグム」と呼ばれ、書き留めることは禁じられていましたが、前 2 世紀頃から書き留められたものが現れるようになり、現在さまざまなタルグムが残っており、世界的に有名な聖書ソフトである”BibleWorks10”にも 6 種類のタルグムが収録されています。なお、通訳者が祭司の読む一節一節を、具体的事例や寓話を交えて翻訳したタルグムには、直訳ではなく、わかりやすく言い替えたり詳しく説明したりしているものもあります。

(参照文献)

--ブリタニカ国際大百科事典

--日本聖書協会 [タルグム--アラム語訳聖書](#)

--Wikipedia [“Targum”](#) last modified on 16 September 2016